

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査 2020」調べ

# 好きなスポーツ選手「大坂なおみ」が第4位と初の上位に

## 1位は前回調査に続き「羽生結弦」

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する公益財団法人笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：渡邊一利）が、2020年8～9月に全国の18歳以上の男女を対象に実施した調査によると、「好きなスポーツ選手」の1位は「羽生結弦」7.8%となり、次いで「イチロー」7.5%、「大谷翔平」5.1%、「大坂なおみ」4.9%、「浅田真央」4.2%となりました（図表1）

4位の「大坂なおみ」は調査以来初の上位となり、性別では女性からの人気が高く（8.0%）、年代別では、70歳代（9.1%）、40歳代（5.5%）の割合が高い結果となっています。「羽生結弦」は前回調査（2018年）に続き1位で、女性からの人気は1位（15.3%）となっており、3位のイチローは男性からの人気は10.1%と最も高くなっています。

これらの調査結果を含む「スポーツライフ・データ 2020」は、2020年3月に発売しております。

公式ウェブサイト：[https://www.ssf.or.jp/thinktank/sports\\_life/data/favorite\\_player.html](https://www.ssf.or.jp/thinktank/sports_life/data/favorite_player.html)

図表1：好きなスポーツ選手 2020（全体・性別：上位5位まで）

全体 (n=2,246)			男性 (n=1,140)			女性 (n=1,106)		
順位	選手名	%	順位	選手名	%	順位	選手名	%
1	羽生 結弦 (フィギュアスケート)	7.8	1	イチロー (野球)	10.1	1	羽生 結弦 (フィギュアスケート)	15.3
2	イチロー (野球)	7.5	2	大谷 翔平 (野球)	6.2	2	浅田 真央 (フィギュアスケート)	8.0
3	大谷 翔平 (野球)	5.1	3	錦織 圭 (テニス)	3.1		大坂 なおみ (テニス)	8.0
4	大坂 なおみ (テニス)	4.9		長嶋 茂雄 (野球)	2.4	4	錦織 圭 (テニス)	5.0
5	浅田 真央 (フィギュアスケート)	4.2	4	リオネル・メッシ (サッカー)	2.4	5	イチロー (野球)	4.8

資料：笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査 2020」

■担当者コメント：笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 シニア政策オフィサー 宮本幸子  
 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、ファンが現地で直接観戦できる機会が少ない時期の調査であったが、好きな選手には合計489名の名前があげられた。

なかでも大坂なおみ（テニス）は全体の4位、女子では2位と、初の上位となった。大坂なおみは2020年全米オープンで2年ぶりに優勝し、BLM(Black Lives Matter)運動支持の表明でも大きな話題となった。高い競技力や世界での活躍に加えて、記者会見やSNSで発信されるメッセージにも注目が集まっている。

羽生結弦（フィギュアスケート）は前回2018年調査に続いての1位となった。すべての年代で3位以内に入り、幅広い支持を集めている。また、2位のイチロー（野球）は2019年に引退したものの今回も2位となり、2010年から6回の調査すべてで3位以内にランクインした。上位には調査時に活躍する選手に加え、長く根強い人気を誇る選手が含まれるのが特徴である。

**【主な調査結果】**
**1. 好きなスポーツ選手の年次推移**

2010年から2020年までの好きなスポーツ選手の推移では、過去6回の調査すべてで上位10名に入るのは「イチロー」と「浅田真央」となった。両者はともに引退した選手だが安定した人気を誇る。新たに10位以内に入った選手は4位の「大坂なおみ」ほか、7位の「池江璃花子」2.0%、8位の「渋野日向子」1.8%、9位の「坂本勇人」1.6%、10位の「リオネル・メッシ」1.4%となっている。

**図表2：好きなスポーツ選手の年次推移 2016～2020年（全体：上位10名まで）**

2016年 (n=2,415)			2018年 (n=2,337)			2020年 (n=2,246)		
順位	選手名	%	順位	選手名	%	順位	選手名	%
1	イチロー（野球）	16.4	1	羽生 結弦（フィギュアスケート）	10.6	1	羽生 結弦（フィギュアスケート）	7.8
2	錦織 圭（テニス）	12.8	2	大谷 翔平（野球）	7.7	2	イチロー（野球）	7.5
3	浅田 真央（フィギュアスケート）	6.5	3	イチロー（野球）	7.2	3	大谷 翔平（野球）	5.1
4	羽生 結弦（フィギュアスケート）	4.6	4	錦織 圭（テニス）	7.1	4	大坂 なおみ（テニス）	4.9
5	木村 沙織（バレーボール）	2.9	5	浅田 真央（フィギュアスケート）	3.7	5	浅田 真央（フィギュアスケート）	4.2
6	長嶋 茂雄（野球）	2.0	6	本田 圭佑（サッカー）	2.7	6	錦織 圭（テニス）	4.0
7	大谷 翔平（野球）	1.9	7	長嶋 茂雄（野球）	2.4	7	池江 璃花子（水泳）	2.0
8	白鵬（相撲）	1.3	8	長谷部 誠（サッカー）	1.7	8	渋野 日向子（ゴルフ）	1.8
9	五郎丸 歩（ラグビー）	1.2	9	松山 英樹（ゴルフ）	1.7	9	坂本 勇人（野球）	1.6
10	本田 圭佑（サッカー）	1.2	10	内村 航平（体操競技）	1.5	10	リオネル・メッシ（サッカー）	1.4

資料：笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査2020」

**2. 好きなスポーツ選手（年代別）**

全体1位の「羽生結弦」は18・19歳および50歳代から70歳以上で1位になり、2位の「イチロー」は20歳代から40歳代で1位となった。18・19歳は「大谷翔平」「本田圭佑」も同率1位。60歳代と70歳以上では「長嶋茂雄」が入った。全年代で10位以内に入るのは「羽生結弦」「大谷翔平」「浅田真央」であった。

**図表3：好きなスポーツ選手2020（年代別：上位10名まで）**

18歳・19歳 (n=56)			20歳代 (n=272)			30歳代 (n=322)			40歳代 (n=453)		
順位	選手名	%	順位	選手名	%	順位	選手名	%	順位	選手名	%
	大谷 翔平（野球）	7.1	1	イチロー（野球）	7.4	1	イチロー（野球）	9.6	1	イチロー（野球）	9.9
1	羽生 結弦（フィギュアスケート）	7.1	2	羽生 結弦（フィギュアスケート）	5.5	2	浅田 真央（フィギュアスケート）	5.3	2	羽生 結弦（フィギュアスケート）	6.2
	本田 圭佑（サッカー）	7.1	3	浅田 真央（フィギュアスケート）	4.8	3	羽生 結弦（フィギュアスケート）	4.7	3	大坂 なおみ（テニス）	5.5
4	坂本 勇人（野球）	5.4	4	大谷 翔平（野球）	4.0	4	大谷 翔平（野球）	4.0	4	大谷 翔平（野球）	5.1
	宇野 昌磨（フィギュアスケート）	3.6	5	錦織 圭（テニス）	3.7		大坂 なおみ（テニス）	4.0	5	錦織 圭（テニス）	4.2
5	久保 建英（サッカー）	3.6	6	池江 璃花子（水泳）	2.6	6	リオネル・メッシ（サッカー）	2.8	6	浅田 真央（フィギュアスケート）	3.1
	福岡 聖樹（ラグビー）	3.6		石川 祐希（バレーボール）	2.2		錦織 圭（テニス）	1.9	7	池江 璃花子（水泳）	2.9
	ネイマール（サッカー）	3.6	7	本田 圭佑（サッカー）	2.2	7	三浦 知良（サッカー）	1.9		八村 塁（バスケットボール）	2.0
9	浅田 真央（フィギュアスケート）	1.8		大坂 なおみ（テニス）	2.2		クリスティアーノ・ロナウド（サッカー）	1.9	8	リオネル・メッシ（サッカー）	2.0
	石川 祐希（バレーボール）	1.8		坂本 勇人（野球）	1.8		マイケル・ジョーダン（バスケットボール）	1.9		三浦 知良（サッカー）	1.8
※	同率選手他30名		10	桃田 賢斗（バドミントン）	1.8				10	マイケル・ジョーダン（バスケットボール）	1.8
				リオネル・メッシ（サッカー）	1.8						

  

50歳代 (n=412)			60歳代 (n=379)			70歳以上 (n=352)		
順位	選手名	%	順位	選手名	%	順位	選手名	%
1	羽生 結弦（フィギュアスケート）	10.2	1	羽生 結弦（フィギュアスケート）	10.0	1	羽生 結弦（フィギュアスケート）	9.7
2	イチロー（野球）	7.0	2	大谷 翔平（野球）	7.7	2	大坂 なおみ（テニス）	9.1
3	大谷 翔平（野球）	4.9	3	イチロー（野球）	7.4	3	浅田 真央（フィギュアスケート）	5.7
	錦織 圭（テニス）	4.9	4	錦織 圭（テニス）	5.0		イチロー（野球）	4.3
5	大坂 なおみ（テニス）	4.4	5	浅田 真央（フィギュアスケート）	4.7	4	大谷 翔平（野球）	4.3
6	浅田 真央（フィギュアスケート）	2.9	6	大坂 なおみ（テニス）	4.0		錦織 圭（テニス）	4.3
	渋野 日向子（ゴルフ）	2.9	7	長嶋 茂雄（野球）	3.2		渋野 日向子（ゴルフ）	4.3
8	池江 璃花子（水泳）	2.4	8	松山 英樹（ゴルフ）	2.9	8	長嶋 茂雄（野球）	3.7
9	三浦 知良（サッカー）	2.2		石川 遼（ゴルフ）	2.1	9	坂本 勇人（野球）	3.4
10	松井 秀喜（野球）	1.9		坂本 勇人（野球）	2.1	10	石川 遼（ゴルフ）	2.8
			9	池江 璃花子（水泳）	2.1			
				渋野 日向子（ゴルフ）	2.1			

資料：笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査2020」

**【調査概要】**

調査内容：運動・スポーツ実施状況、運動・スポーツ施設、スポーツクラブ・同好会・チーム、スポーツ観戦（好きなスポーツ選手含む）、スポーツボランティア、日常生活における身体活動、生活習慣・健康 他

調査対象：全国の市区町村に居住する満 18 歳以上の男女 3,000 人（男性：1,493 人、女性 1,507 人）

地点数：300 地点（大都市 89 地点、人口 10 万人以上の市 122 地点、人口 10 万人未満の市 64 地点、町村 25 地点）

調査時期：2020 年 8 月 28 日～9 月 23 日

SSF スポーツライフ調査委員会：

委員長	海老原 修	横浜国立大学 教育学部 教授	
委員	大勝 志津穂	愛知東邦大学 人間健康学部 教授	
委員	澤井 和彦	明治大学 商学部 准教授	
委員	鈴木 宏哉	順天堂大学 スポーツ健康科学部 前任准教授	
委員	高峰 修	明治大学 政治経済学部 教授	
委員	堤 裕美	上田女子短期大学 幼児教育学科 専任講師	
委員	野井 真吾	日本体育大学 体育学部 教授	
委員	中島 光	笹川スポーツ財団 常務理事	(所属・肩書は刊行時)

**【最新刊「スポーツライフ・データ 2020」発売中】**

成人を対象に 1992 年から 2 年ごとに実施している全国調査です。全国の 18 歳以上を調査対象に、頻度・時間・運動強度からみた SSF 独自の指標である「運動・スポーツ実施レベル」をはじめ、スポーツ観戦率やスポーツボランティア実施率、スポーツクラブ加入率、好きなスポーツ選手の推移など、国内のスポーツライフの現状を明らかにしてきました。

このたび、最新刊「スポーツライフ・データ 2020」を 2021 年 3 月 31 日に発売しております。新型コロナウイルス感染症による大きな変化の中で、人々のスポーツライフはどのような実態なのかを探るべく、2020 年調査では「社会の変化とスポーツライフ」をテーマに調査を実施。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響は、スポーツ活動にも少なからず影響を及ぼした結果となっています。



仕様：A4 版 / 204 ページ

価格：3,300 円（本体 3,000 円 + 税 10%）

発売：2021 年 3 月 31 日

発売中「スポーツライフ・データ 2020」

[https://www.ssf.or.jp/publication/ssf\\_books/20210331.html](https://www.ssf.or.jp/publication/ssf_books/20210331.html)



スポーツライフ・データ 2020 表紙